

1+1=女性の力キャンペーンで男女平等政策を実現しよう!

「1+1=女性の力」はITUC（国際労働組合総連合）が提唱した女性参画推進のためのスローガンです。

一人の女性がもう一人の女性に政策実現のプロセスを伝え、広げていくことで、要求を実現していこう、ということの意味しています。



国や地方自治体に女性の声を反映させよう!

1 同じ仕事、でも評価は!? 私の会社には女性課長はゼロ!?

働く人のうち4割を女性が占めるなど、女性の社会参加が進んでいます。ところが、女性の賃金を男性の賃金と比べてみると65.9%にしかすぎません。また、役職者に締める女性の割合も低く、上位にいくほど女性割合が低くなっています。

わたしたちの政策要求

- 男女雇用機会均等法を早期に見直す。
 - ・間接差別の禁止の基準は範囲を狭く限定しない。
 - ・事業主にポジティブ・アクションの行動計画の策定と実行、公表を義務化。



3 パートで働いて5年。仕事は1人前に まかされても賃金は半人前!?

今、パートタイム労働者の数が増加しています。また、派遣労働者や契約社員といった働き方が増えており、中には正社員と同じ仕事をしている人も少なくなく、何年働いても賃金が上がらず格差が拡大しています。

わたしたちの政策要求

- すべてのパートタイム労働の均等待遇原則の法律化。
- 有期労働契約の締結は「合理的理由」がある場合に限定。
- パート・派遣など雇用形態にかかわらず、全員が加入できる社会保険制度の実現。



2 妊娠・出産すると仕事ができない!? 夫は長時間労働で育児は妻の役割!?

女性社員の活用や登用を妨げているのが出産と育児の問題。「男は仕事、女は家庭」という意識が根強いことに加え、共同で育児を担うべき働き盛りの男性の長時間労働が増加傾向にあるのも問題です。

わたしたちの政策要求

- 均等法の理念に「男女労働者の仕事と生活の調和」を明記。
- フルタイム労働者の「年間総労働時間1,800時間」の数値目標設定。
- 家族の病気・看護休暇、配偶者出産休暇(5日間)の新設。



4 保育園が決まらない!? 親の介護のことが心配!?

いっこうに解消されない保育所の待機児童数など、子育て支援への切実なニーズは高まるばかりです。また、介護保険はスタートしたものの、サービスの量・質ともに問題が多いというのが現状です。

わたしたちの政策要求

- 保育サービスの整備・拡充。
- 子を持つ保護者がゆとりと責任を持って子育てができるよう、社会的な支援を強化。
- 介護サービスの質の向上やサービスを担う介護労働者の労働条件を改善。



～男女平等参画で仕事と生活の調和を実現しよう!～

同期の男性はみんな課長…。私だって昇進したい！



今夜も残業ですって?! 育児の分担決めたのに!

同じ仕事をしているのに。パートの賃金って…!



夫の職場復帰まであと4ヵ月。保育園どうしよう…。



国会前行動

政策要求の実現まで頑張ろう!

私の仕事&暮らし。誰が決めるの？ 人任せでいいのかなー？

私たちの暮らしを変えるためにも、社会のしくみを変える必要があります。
社会のしくみを知り、政治の場に女性の声を反映させましょう!

バラを配って私たちの要求をアピール!



中央女性集会

男女平等参画のさらなる推進に全力で取り組もう!



審議会

審議会とは厚生労働省の大臣の諮問を受けて公益側委員、労働者委員、使用者委員の三者で議論をする機関です。

厚生労働省前集会

審議会に出ている仲間を応援しよう!



パレード

みんなで元気にアピールしよう!



国会

法律施行



国会質問

傍聴行動で質問議員を激励



〈私たちの要求が法律になるまでのプロセスと連合の活動〉



<http://www.jtuc-rengo.or.jp/>